

経営比較分析表（令和5年度決算）

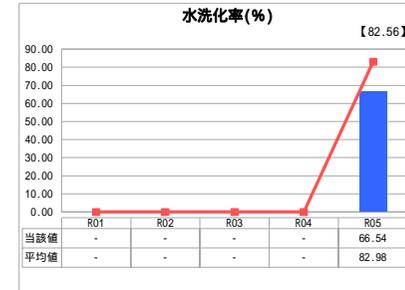
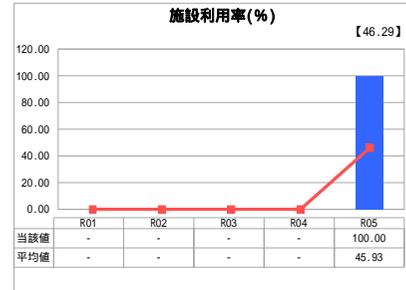
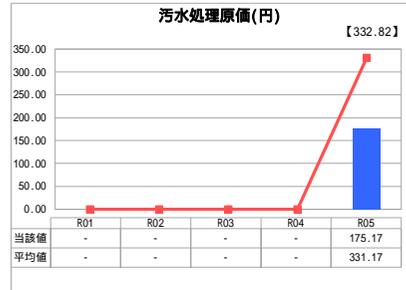
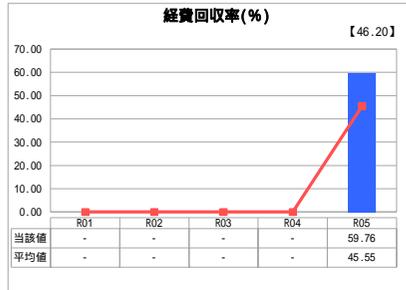
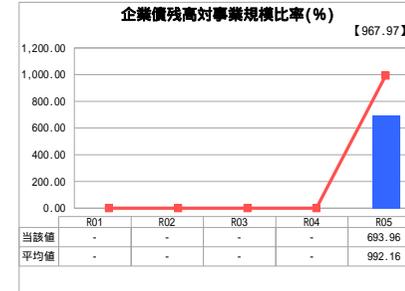
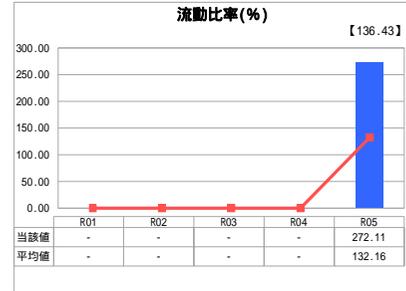
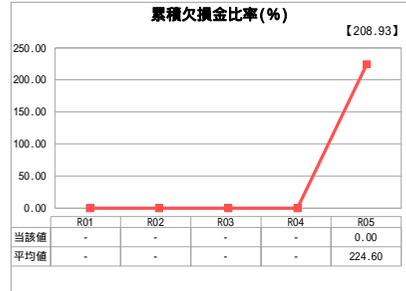
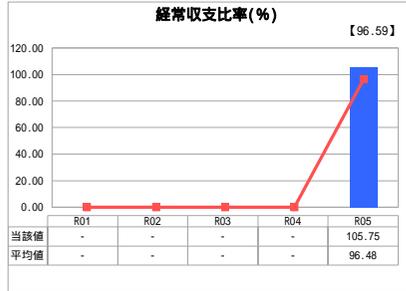
岐阜県 揖斐川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.50	8.31	100.00	5,720

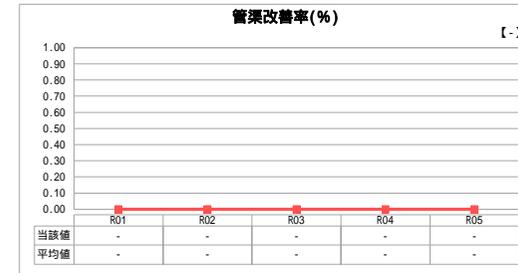
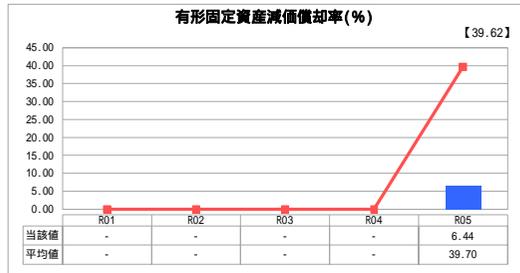
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,062	803.44	23.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,569	2.03	772.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町は、今年度（令和5年度）より地方公営企業法を適用したため、前年度以前は数値なしとなっています。

経常収支比率は100%以上であるが、一般会計繰入金に依存した状態である。

流動比率は企業債元利支払い金額が令和元年をピークに減少してきているため100%以上となっている。

一方で企業債残高対事業比率について、企業債の残高はしばらく横ばいだが、減少していく。しかし人口減少傾向などの要因もあり使用料収益も減少が見込まれる。

経費回収率は平均より高く、汚水処理原価は平均より低いが、引き続き未納対策による更なる使用料の確保とともに、経費削減に務める。

水洗化率は低く、高齢世帯も多く将来性及び経済性から大きく上昇することは難しい。

2. 老朽化の状況について

町に譲渡された集合処理浄化槽は、供用開始から30年以上が経過している施設があり、施設の老朽化が懸念される。

集合処理であれば、浄化槽本体に加えて流入管路も更新する必要があるため、計画的な更新が行えるよう現状を把握するとともに、躯体及び流入管路の調査を行い、長期的な更新計画を作成する必要がある。

全体総括

個別排水処理における経営は、清掃手数料や法定検査などの管理経費（経常経費）を削減することは困難であると考えられる。しかしながら、必要な経費を長期的にとらえ使用料金の未納世帯に対する徴収の強化や計画的な維持修繕を行う。令和2年度に策定した経営戦略に基づき、継続的な維持管理費の抑制と未接続世帯への接続推進に努め、より健全な経営管理に努める必要がある。

「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。